

第2号

発行：平成30年10月
 発行者：下松市教育委員会
 編集：下松市郷土資料展示収蔵施設
 「島の学び舎」
 (0833)52-0860

しままなや 「島の学び舎」だより

クローズアップ 塩づくりのまち「くだまつ」



宮ノ洲の塩田

かつて、くだまつは、防長有数の塩づくりのまちとして栄えていました。大正六年頃の写真集「下松町久原工場敷地全景」には、末武平野から宮ノ洲までの多くの塩田が写っており、沼井や煙をはく釜屋が見えます。

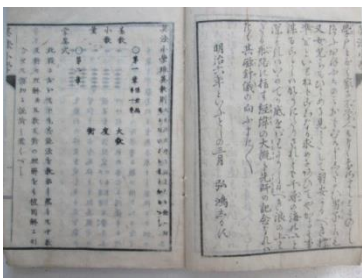
また、塩田以外でも、遠景ながら、現在は移転等により消滅した建物（宮ノ洲の澄泉寺、撰社降松神社、豊井小・下松小の旧校舎等）が写っており、大変貴重です。

当館では、塩田、建物名を解説した写真パネルとして展示しています。



新展示「大八車」

人力で引く大型の荷車で、米、木材、石材等の運搬に使われました。大八車の名前は車台の長さが八尺（約二・四m）であることに由来するという説が有力です。



展示小品紹介 「算法小学」

当館では、明治時代の教科書を多く収蔵しています。「算法小学」は小学校の算数の教科書ですが、郷土出身の和算家弘鴻が序文を書いています。

話題の資料

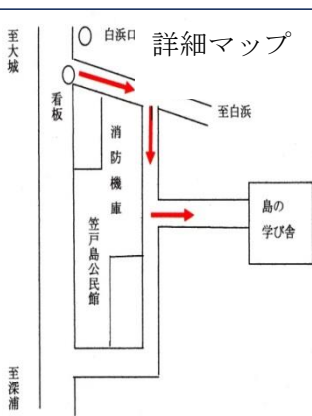


一見、白線引きに似ていますが、麦の種まき機です。小さな車輪の上に種が入った箱があり、柄を押して転がすことにより、自動的に種が落下します。

編集後記

本年七月の豪雨により、当館も施設等に被害を受け、やむを得ず長期にわたり休館させていただきました。利用者の皆様には、多大のご迷惑をおかけしましたことをおわびいたします。

創刊準備号で探しておりました「斗搔」他多くの民具を、市民の皆様から寄贈いただき、ありがとうございます。徐々に資料の充実が進んでおりますので、ご活用いただければ幸いです。



開館日時 火・木・土・日・祝
 10時～16時
 所在地 下松市大字笠戸島 32-38